



同窓会報

56

題字：56回生（平成18年度卒業）菊 地 太 紀



〈2019〉大船渡高校 野球部

❖ 目 次 ❖

桜庭くん、久しぶりだね！	会長 山 口 康 文	2
路傍の石より	校長 吉 田 祥	2
令和元年度 同窓会総会(本部)・創立70周年記念事業のお知らせ		3
令和元年度 活動計画・一般会計予算		4
同窓生だより	『希望こそ最大の財産』 及 川 忠 人	5
令和元年度 部活動戦績(全日制・定時制) 前半		6・7
平成31年度～令和2年度 同窓会役員・平成31年度入試(30年度卒業生)進路状況		8

桜庭くん、 久しぶりだね！

同窓会長 山口 康文



先日、久しぶりに釜石、ラガーマン桜庭吉彦くん（釜石シーウェイブス）にお会いした。

20年前、岩手・青森・秋田・宮城など北東北から回収するペットボトルの再生施設「ペットボトルリサイクルセンター」を宮城県北部に新しく建設するにあたり、計画時にこのセンターから排出される「ペットボトル洗浄水（1日の廃水量 300m³）」の浄化、処理施設の設計、工事を依頼され、発注元である当時の新日鐵グループから「当社の桜庭吉彦くんを助手にして作業の内容・手順を教えてやって欲しい。」と。各市町村がゴミの分別を市民にお願い始めた頃だ。ペットボトルは、30年前から、自動販売機、スーパー、コンビニなどに出回り、その後、ペットゴミの量が増え、燃えるゴミとの区分けが必要となり、ペットボトルの再利用が求められはじめた時代であった。今、ペットボトルは、ペットゴミとして世界的な環境問題となっている。

新しくペットボトルを作る費用は、1本あたり7.8円、リサイクルにかかる費用は、1本あたり27.8円と言われている。環境

先進国ドイツは、空き瓶を持っていくと1本40円位返金してくれるシステム、デポジット制に取り組んでいる。世界各国の環境への理解・方向・対策は、大きく変わった。

桜庭くんに戻ろう！当時、彼は、ニッテツ・F・プロダクト設備技術 GR に所属しており、設備工事に少し理解があった。そのお陰で本設備工事は、順調に進み、無事に予定通り終えた。このセンターの建設面積は、小学校の敷地位、ここに校舎の様な大きい本体（センターは鉄骨構造）を建てる。そして、浄化、処理施設の広さは、160m²程、一部の高さは、6m位ある。私が設計した PH 中和処理装置と凝集沈降分離装置（本体 6m）が主要な機器、制御が主な工事である。

桜庭くんは、朝、スポーツマンらしく爽やかな挨拶から始まり、フットワークが良く、頼んだ機器類、金具類の運搬をスピード感溢れる動きで軽くこなし、よく働いてくれた。

私は、40年前、28才の時、「環境、公害対策の設備・メンテナンス」を主とする会社を起業した。事前の県内市場調査から沿岸では、活気ある釜石市から活動をスタートした。

当時の釜石市は、釜石ラグビー V2 時代、森・松尾の全盛期であった。まちに勢いがあり、明るさがあった。ここから多くの方との交流が始まり、今の自分がある。大事にしてきた出会いだ。現在、彼は、ゼネラルマネージャー、2か月後のワールドカップが釜石で開催されるが「北の鉄人」の熱い心をベースにこの大会を成功させて欲しい。と願う私は、彼にエールを送る。

路傍の石より

校長 吉田 祥



この4月に着任いたしました吉田祥と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に対する深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。昨年、大高はめでたく創立70周年の節目を迎えるました。それを受け、今年度は、多数の同窓会員の皆様で構成される実行委員会を中心となって、創立70周年を祝う各事業が着々と企画・準備されており、10月19日には記念式典がアリスホールにて開催される予定です。学校側も、創立70周年にふさわしい格調高い催しとなりますよう、生徒・教職員をあげて取り組んで参りますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

今年度の後輩諸君の活躍の一端を、ご紹介いたします。全

日制では、高校総体県大会の結果を受けて、空手道男子個人形で1名がインターハイ出場、空手道男子3名・陸上競技2名が東北大会出場を果たしています。また、8月に行われる全国佐賀高総文祭には、美術部1名が県代表として参加予定です。一方、定時制では、陸上競技4名・卓球1名・バドミントン1名の計6名が全国大会出場の切符を勝ち取っています。先日、行われた岩手日報社主催高校生フォトコンテストでの4席入賞も特筆すべきものでした。文化部については、今後、各種大会やコンクールが予定されていますので、素晴らしい結果がもたらされるものと期待しているところです。

校長室の入口右側に、18代校長只野先生の書が掲げられています。その書は、山本有三作「路傍の石」の、「たったひとりしかいない自分をたった一度しかない一生を本当に生かさなかったら 人間生まれてきた甲斐がないじゃないか」という一節です。書を見る度に、今日の自分はどうあるべきか？ どうだったか？ と、気持ちを新たに振り返る瞬間となります。変化の激しい社会を生きていく生徒たちに伝えたい、一番大切な思いが込められているような気がいたします。

令和元年度 同窓会総会

今年度も大船渡プラザホテルを会場に本部総会が開催されました。今年度は44名の参加でした。同窓会の活動や会計の報告の他、創立70周年に向けた記念行事や取り組みの紹介がされました。

総会後の懇親会から教育実習生が加わり、恒例となった尾崎君の舞も披露され盛大な会となりました。



創立70周年 記念事業のお知らせ

今秋の記念式典の実施を中心として、記念誌の発行や文化部発表会等が行われます。同窓会の皆様のご支援とご協力をお願ひいたします。

(1) 記念式典、記念講演会、記念祝賀会

実施日 令和元年 10月 19日(土)
会 場 記念式典・記念講演会 リアスホール
記念祝賀会 大船渡プラザホテル
司 会 本校生徒
式典講師 真鍋政義氏(元バレーボール全日本女子代表監督)
式典表彰者 歴代の校長・PTA・定時制教育振興会長・同窓会長
祝賀会アトラクション 大沢桃子氏(本校OG)
祝賀会司会 菅野真美恵氏(FMねまらいん)
祝賀会用DVD 大船渡写真館(10分程度)



(2) 記念誌

内 容 60周年以降の10年間の歩みと70周年記念事業をまとめた。
850部発行予定(約150ページで190万円程度)
印刷会社 東海新報社
進呈・無償配布 表彰者、県内各高等学校
販 売 来賓者・一般参加者・教諭の希望者 在校生徒は1人1,000円予算



(3) 記念品

記念品 表彰者……置き時計とタオルとお菓子
来 賓……タオルとお菓子 生 徒……タオル



(4) 文化部発表会

実施日 令和元年 10月 19日(土) 午前中
会 場 リアスホール
司 会 本校生徒
内 容 吹奏楽部、演劇部、自然科学部による発表。美術部、書道部、文芸部の展示

(5) 環境整備

校舎裏のLED照明 「自主獨立」看板の移動 懸垂幕、横断幕の設置

令和元年度 活動計画

1. 基本方針

会員一人一人が母校愛と誇りを持ち、年代間の差なく共に親睦を深めて有意義な人生を送る。また、母校の動向に対して常に关心を寄せ、後輩たちが充実した高校生活を過ごせるように、物心両面において支援する。

2. 具体的計画

1. 役員会・総会の開催
2. 会員の掌握と組織の強化
3. 各支部総会の開催と連携
4. 会報の発行(年2回)
5. 母校行事への行事
6. 諸団体との連携と協力
7. 奨学資金の貸与
8. 部活動への支援
9. 70周年記念事業への協力
10. 母校より要請された事案への協力

3. 活動内容

期 日	名 称	場 所
4月4日(木)	会計監査	大船渡高校応接室
4月9日(火)	入学式	大船渡高校第1体育館
4月19日(金)	第1回三役会	大船渡高校応接室
5月15日(水)	創立70周年記念事業実行委員会第5回総会	大船渡高校大会議室
6月6日(木)	第1回常任理事会	大船渡高校大会議室
6月18日(火)	同窓会総会	大船渡プラザホテル
7月8日(月)	創立70周年記念事業実行委員会第6回総会	大船渡高校大会議室
7月26日(金)	同窓会報(第44号)発行	
9月5日(木)	創立70周年記念事業実行委員会第7回総会	大船渡高校大会議室
9月上旬	仙台支部総会	未定
10月12日(土)	関東支部総会	未定
10月19日(土)	創立70周年記念式典 記念講演会 記念祝賀会	リアスホール 大船渡プラザホテル
2月中旬	第2回三役会	
2月下旬	創立70周年記念事業実行委員会解散総会	大船渡高校大会議室
2月28日(金)	同窓会報(第45号)発行	
2月29日(土)	同窓会入会式	大船渡高校夕星ホール
3月1日(日)	卒業式	大船渡高校第1体育館
未定	盛岡支部総会	未定

令和元年度 一般会計予算

〈収入の部〉

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比 較(A-B)	摘 要
1. 会 費	1,908,000	1,962,900	▲ 54,900	全日制: 518人×360円×10ヶ月 定時制: 16人×270円×10ヶ月
2. 繰 越 金	354,230	435,260	▲ 81,030	
3. 雑 収 入	70	40	30	預金利息
合 計	2,262,300	2,398,200	▲ 135,900	

〈支出の部〉

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比 較(A-B)	摘 要
1. 記念事業基金	700,000	700,000	0	記念事業積立
2. 卒業記念品	250,000	250,000	0	印鑑、卒業証書筒
3. 役員派遣費	400,000	400,000	0	各支部総会等派遣、歓送迎会役員会費
4. 部活動補助費	50,000	50,000	0	
5. 会報印刷費	150,000	150,000	0	7月・2月の2回発行
6. 総会費	170,000	200,000	▲ 30,000	本部総会補助
7. 役員会費	120,000	70,000	50,000	三役会、常任理事会、監査
8. 支部費	200,000	250,000	▲ 50,000	関東・仙台・盛岡・管内各支部
9. 事務局費	80,000	150,000	▲ 70,000	パソコン購入費、通信費、事務用品等
10. 慶弔涉外費	40,000	40,000	0	お祝い等
11. 広告費	90,000	100,000	▲ 10,000	各種大会、本部総会案内等
12. 予備費	12,300	38,200	▲ 25,900	
合 計	2,262,300	2,398,200	▲ 135,900	

同窓生だより

希望こそ最大の財産

県立大船渡高校同窓会盛岡支部長

及川 忠人

(第14回生・昭和39年度卒業)



小生は昭和40年3月に卒業の新制大船渡高校の14回生にあたります。母校から岩手医大医学部医学進学課程に入学を許され、昭和46年の春に医師国家試験に合格して、丁度48年の年月が流れようとしております。二年後は医師としての職責を学び始めて50年の星霜を通過して来ていることは、母校での高校生活がその基礎にあり、人間形成の大切な時に、学び舎の存在はとても大きく、また懐かしいものがあります。

小生の生家は大船渡町の明神前にあります。平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災において浸水の被害を受けましたが、奇跡的に生家は残り、義姉と多くの協力者の支援を受けて、見違えるような気仙大工によって父親が21歳の時に建築した日本式家屋が残りました。襖の取っ手の直下まで浸水があり、修復作業の前の段階での当時の記録スナップを見る時、東日本大震災の凄まじい記憶を留めることとなりました。それから8年の年月が経過しており、時の流れの速さに驚きを覚えるものであります。

小生の父親、及川忠次は県立大船渡高等学校の前身である県立氣仙農学校の第一回生であります。祖父が40歳台前半で亡くなり、祖母と父親と叔父(弟)の3人暮らしであります。地域外の学校に進学したい思いがあったそうですが、浄土真宗の西光寺の師匠さんに、相談をして、そのまま祖母を支える決心をして、母校の小山幸衛門先生の勧めで母校に残り、働きながら教職の資格を取得して、大船渡高校定時制主事として定年より数年前に、退職して悠々自適の生活をしておりました。農業高校の教員としての傍ら更生保護司としてのボランティアの仕事も続けて、晩年の長い年月地域の更生保護司会の会長職にありました。

小生の岩手医大への進学は「岩手の医師」になることも大切なことであるとの父親の勧めが大変大きかったと思いま

す。大船渡高等学校は小生の兄(及川忠昭)も奉職して、大船渡高校の校長として定年を迎えております。兄からは英文法の教科を教えられ、兄が教師で小生が生徒であることは、何となく身内のこともあります。恥ずかしい思いがしたことを、今でも覚えております。

大船渡高校同窓会盛岡支部長として数年前から活動しておりますが、十分な活動をしておりませんでした。特に昨年は小生の勤務する東八幡平病院の増改築工事と創立40周年の行事に忙殺されて、盛岡支部総会の開催は今年の1月12日に変則的な時期に開催することになり、申し訳なく思っております。

その中の記念講演として(株)バンザイファクトリー代表取締役の高橋和良氏をお招きして「大船渡市の復興特区に新たな生産拠点が始動した」との素晴らしい地域での起業の体験を中心とした御講演を頂きました。まさに直面する被災地の復興につながる起業のモデルがそこにあるとの実感を覚えて、聴講者は大きな感銘を受けて、和やかな交流会により母校に連なることの大切さを実感することが出来ました。

母校の校歌は小生の時代は新渡戸仙岳氏作詞の古い校歌を使っておりました。小生の父親が母校の教師であったこともあり、この二番の「農は御國の基なり、國の基を固むべき、知徳技能の研修に致々と努めんつとめよや」とあります。國の根幹は農業にありとする母校校歌にある内容は古い校歌ですが、今の日本にもあてはまることがあると思われます。小生は世界一の福祉先進国であるデンマークへの研修に世話役として学び5年間の連続研修を北欧のデンマークを中心に実施致しました。実にデンマークの農業の実態は國の根幹を支え、地域社会の基礎的基盤産業になっており、食料自給率300%の現実の姿を学びながら母國の大変な農業事情に心を痛めることとなりました。

氣仙農学校は当時公立の中学校が無かったこともあり、氣仙地方のセンタースクールとしての役割を果たしていました。そしてその目標はデンマークの農業であったと父親は語っておりました。父親が退職の時に、茶系の背広を着て、退職式に臨み、自分の歩みの中で、氣仙農学校の初代校長の小山先生から頂いた背広を身に着けて、母校での職責を終始一貫、どこにも他校への転任も無く、退職できることは、母校の小山校長先生の御配慮があったればこそということを、在校生に話をしたことが懐かしい想い出となります。小生はそのような意味では二代目の母校卒業生ということになり、大船渡高校同窓会盛岡支部長を拝名することは、とても歴史的な意味があると受け止めておりますが、現実には乏しい活動しかなしていないことが現実の課題であります。

今年の母校の活躍の一例は、報道されている野球部の佐々木投手の活躍への期待であります。マスコミのことはあまり気にせず、精一杯の活躍を心から期待しておりますが、高校野球の基本を大切にして、大いなる活躍を多くの同窓生の一人としてご期待申し上げたいと思っております。

イギリスの有名な「自助論」の著者スマイルズの本に「向上心」という著作があります。その中でスマイルズはマケドニア王の跡を継いだアレキサンダー大王の若き日のことを記載しております。彼は父親が遺してくれた土地の大部分を友人たちに与えてしまった。「王は何を手もとに残されたのですか」とたずねられると、アレキサンダーは「この世で一番大きな、希望という財産だ!」と答えたという内容であります。形見として遺された財産がどれほど莫大であっても、希望が与えてくれる財産に比べればはるかに見劣りがする。将来への希望があればこそ、人はあらゆる努力と試練に立ち向かっていけるからである、と記載しています。

大船渡高校の将来が希望にあふれた大いなる歩みと次代を担う逞しい若者を育成する教育の場のさらなる御発展を心から期待申し上げまして、まとまらない内容となりましたが同窓会盛岡支部長の挨拶に替える次第であります。

令和元年度 部活動戦績【全日制・定時制】-前半-

全 日 制

硬式野球部

■第66回春季東北地区高等学校野球

岩手県大会沿岸南地区予選
代表決定戦 大船渡 ⑦-2 住田
(5回コールド)
第1代表決定戦
大船渡 ⑦-0 高田
(8回コールド)

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 硬式野球競技兼第66回春季東北地区 高等学校野球岩手県大会

1回戦 大船渡 4-⑤ 釜石
(延長10回)

バレー ボール 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 バレー ボール 競技

【男子】
1回戦 大船渡 0-② 盛岡工業
【女子】
1回戦 大船渡 ②-0 大東
2回戦 大船渡 ②-1 盛岡第三
3回戦 大船渡 0-② 一関修紅
ベスト8

空 手 道 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 空手道競技

【男子】
団体組手
1回戦 大船渡 2-③ 釜石商工
1回戦敗退
個人形 永澤 仁 優勝
インターハイ・東北大会出場決定
佐々木長政 第5位
東北大会出場決定
富澤舜基 第5位
東北大会出場決定
高橋亨至 ベスト8

【女子】
団体組手
1回戦 大船渡 ③-2 宮古
準決勝 大船渡 0-⑤ 釜石
第3位
個人組手
菅野 格 ベスト8
志田香鈴 ベスト8

■第41回東北高等学校空手道選手権大会

【男子】

個人形
永澤 仁 3回戦敗退 ベスト16
富澤舜基 2回戦敗退
佐々木長政 1回戦敗退

ソ フ ト テ ニ ス 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

ソフトテニス競技

【男子】

個人戦
鈴木文太・金野龍飛
2回戦 1-④ 千厩
団体戦
1回戦 大船渡 ②-1 盛岡北
2回戦 大船渡 0-③ 宮古商

【女子】

個人戦
宮沢裕弥佳・大津杏夏
2回戦 2-④ 盛岡二
新沼彩笑・福田はる
1回戦 ④-1 福岡
2回戦 0-④ 盛岡誠桜
団体戦
1回戦 大船渡 ③-0 水沢工業
2回戦 大船渡 0-③ 高田

陸 上 競 技 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

陸上競技

【男子】

今川成世 男子やり投 第2位
東北大会出場

平田峻士 男子5000m 第11位
熊谷篤也 男子5000m 第15位
武藏 全 男子砲丸投 第16位

【女子】

朝倉楓華 女子3000m 第6位
東北大会出場

朝倉楓華 女子1500m 第8位
菊地みのり 女子1500m 第14位
菊地みのり 女子3000m 第9位
岡澤風華 女子走跳 第12位

■東北高校陸上競技大会

【男子】

今川成世 男子やり投 第16位

【女子】

朝倉楓華 女子3000m 第29位

バ ド ミ ン ト ン 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

バドミントン競技

学校対抗

【男子】

1回戦 大船渡 0-③ 久慈東

【女子】

1回戦 大船渡 ③-0 種市

2回戦 大船渡 0-③ 千厩

個人対抗

女子シングルス

1回戦 川原 0-② 盛岡誠桜



水 泳 部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 水泳競技

【男子】

100m平泳ぎ 高橋 陽 出場
200m平泳ぎ 高橋 陽 出場

【女子】

50m自由形 新沼杏佳 出場
100m自由形 新沼杏佳 出場
100mバタフライ 村上遙香 出場
200mバタフライ 村上遙香
第8位 東北大会出場

サッカーチーム

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 サッカー競技

1回戦 大船渡 ⑤-1 盛大付属
(前半5-0 後半0-1)

2回戦 大船渡 0-⑧ 遠野
(前半0-2 後半0-6)



弓道部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 弓道競技

【男子】

予選 男子40射7中 予選敗退

【女子】

予選 女子40射10中 予選敗退

卓球部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 卓球競技

【男子】

男子学校対抗

1回戦 大船渡 0-③ 一関二

男子ダブルス 新沼拓豊・小松篤志

1回戦 1-③ 黒沢尻工

男子シングルス 新沼拓豊

1回戦 1-③ 専大北上

【女子】

女子学校対抗

1回戦 1-③ 盛岡誠桜

女子ダブルス 菊池夢衣・齋藤野乃果

1回戦 ③-2 久慈東

2回戦 2-③ 盛岡市立

女子シングルス 菊池夢衣

1回戦 ③-0 宮古商

2回戦 ③-0 一関一

3回戦 0-③ 盛岡二

17~32位決定戦 1-③ 花北星雲

女子シングルス 佐々木累名

1回戦 2-③ 盛岡四

バスケットボール部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技

【男子】

1回戦 大船渡 ⑯-42 盛岡誠桜

2回戦 大船渡 67-⑯ 盛岡一高

【女子】

2回戦 大船渡 42-⑰ 久慈東

柔道部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会 柔道競技

【男子】

男子団体予選リーグ

大船渡 ⑤-0 千厩

大船渡 ③-2 不来方

決勝リーグ

大船渡 1-④ 福岡 ベスト16

男子個人

90kg級 石川蒼磨 ベスト8

81kg級 齋藤聰志 ベスト16

【女子】

女子団体

1回戦 大船渡 ②-0 大船渡東

2回戦 大船渡 0-② 盛岡第一

ベスト16

ソフトボール部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

ソフトボール競技

1回戦 大船渡-盛岡第四 ⑧-1

(5回コールド)

2回戦 大船渡-盛岡市立 ④-3

3回戦 大船渡-花巻東 ベスト8

(5回コールド) ベスト8

報道部

■第42回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第66回NHK杯全国放送コンテスト岩手県大会

朗読部門 1年 佐藤佳純 予選敗退

2年 新沼千怜 予選敗退

囲碁将棋同好会

■第43回文部科学大臣杯全国高等学校

囲碁選手権岩手県大会

団体戦 4戦3勝 入賞ならず

個人戦 小花優太郎 初心者の部 2位入賞

吹奏楽部

■復興! 東高・大高ジョイントコンサート

開催

■碁石海岸観光まつり

出演

■サマーコンサート2019

開催

茶道部

■令和元年度岩手南学校茶道交流会

開催

■大船渡市福祉茶会

参加

演劇部

■令和元年度第1回自主公演

■県南地区合同発表会

定時制

陸上競技部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

2部 陸上競技

【男子】

1年 阿部峻祐

100m 第3位 全国大会出場

1年 塩口大将

200m 第2位

800m 第2位 全国大会出場

3年 上野滉太

800m 第3位 全国大会出場

【女子】

2年 塩口夢姫

100m 第1位

200m 第1位 全国大会出場

卓球部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

2部 卓球競技

男子シングルス

4年 今野翔太郎

準決勝 0-③ 杜陵通

3位決定戦 0-③ 杜陵定

第4位 全国大会出場

バドミントン部

■第71回岩手県高等学校総合体育大会

2部 バドミントン競技

【男子】

男子学校対抗 3年 角田英哲

1年 阿部峻祐・1年 塩口大将

準決勝 1-② 久慈長内 第3位

男子シングルス

角田英哲

2回戦 1-② 一関一定 ベスト8

【女子】

女子学校対抗 3年 佐藤夏花

3年 高橋美帆・2年 塩口夢姫

1回戦 ②-1 一関一定

2回線 1-② 宮古定 第3位

3年 高橋美帆 岩手県代表選出 全国大会出場

女子シングルス

高橋美帆

2回戦 0-② 久慈長内 ベスト8

写真

■岩手日報社主催第28回高校生フォトコンテスト

3年 高橋美帆「階段の向こう」4席



平成31～令和2年度 同窓会役員

役 職	氏 名	回生
名 誉 顧 問	柏 崎 博 夫	1
顧 問	中 村 範 夫	1
顧 問	佐 藤 隆 衛	8
会 長	山 口 康 文	18
副 会 長	今 野 隆 子	16
副 会 長	熊 谷 勵	17
副 会 長	熊 谷 孝 嘉	30
副 会 長	吉 田 祥	校長
監 事	今 野 義 尚	12
監 事	鈴 木 信 男	18

事務局

役 職	氏 名	回生
事 務 局 長	岩 渕 利 明	37
事 勿 局 次 長	山 崎 泰 平	59
局 員	今 野 和 倫	64
局 員	村 上 浩 紀	41
局 員	佐 々 木 崇	29
局員(本校事務長)	熊 谷 節 男	27



平成31年度入試(30年度卒業生) 合格状況

※人数は延べ合格者数です。

【全日制】

国公立大学	
旭川医大	1
北教大岩見沢校	2
北教大函館校	7
室蘭工大	1
弘前大	5
岩手大	11
秋田大	3
山形大	5
福島大	3
筑波大	2
宇都宮大	3
埼玉大	2
新潟大	1
金沢大	1
山梨大	1
静岡大	2
愛媛大	1
青森県立保健大	2
青森公立大	2
岩手県立大	6
宮城大	1
秋田県立大	1
群馬県立女子大	1
高崎経大	2
都留文科大	2
合 計	68

私立大学	
札幌学院大	1

千葉科学技術大

千葉科学技術大	1
青森大	1
青森中央学院大	1
八戸工大	2
弘前学院大	1
岩手医大	5
富士大	1
盛岡大	17
岩手保健医療大	1
石巻専修大	2
東北学院大	13
東北工大	5
東北福祉大	13
東北医薬大	1
宮城学院女子大	8
仙台白百合女大	3
東北文化学園大	3
尚絅学院大	3
日赤秋田看護大	1
ノースアジア大	1
東北芸術工大	2
東北文教大	1
奥羽大	1
東京福祉大	1
高崎健康福祉大	1
埼玉工大	1
城西大	4
駿河台大	1
東都医療大	1
文教大	1
城西国際大	1

千葉科学大

千葉科学大	2
千葉工大	1
千葉商大	1
桜美林大	1
大妻女子大	1
杏林大	1
駒澤大	2
実践女子大	1
芝浦工大	1
大東文化大	2
玉川大	1
中央大	1
帝京大	1
東京家政大	2
東京経済大	1
東京農大	4
東洋大	1
日本大	3
法政大	1
明治大	1
明治学院大	2
ヤマザキ動物大	1
明星大	2
神奈川工科大	3
関東学院大	2
新潟薬大	1
愛知大	1
同志社大	1
大阪芸大	1
合 計	142

短期大学

岩手県大宮古短	3
岩手県大盛岡短	3
山形県米沢女短	1
会津大短大部	1
盛岡大短大部	1
仙台青葉学院短	2
聖和学園短	1
上智短期大	1
新渡戸文化短	1
合 計	14

北京語言大学東京校

宮城文化服装専門学校	1
東京ブライダル専門学校	1
東京ベルエポック美容専門学校	1
日本工学院専門学校	2
東京リゾート&スポーツ専門学校	1
東京アニメ専門学校	1
合 計	35

公務員・民間就職

盛岡消防組合	1
合 計	1

専門学校

市立函館病院高等看護学院	1
岩手リハビリテーション学院	2
宮古高等看護学院	1
盛岡看護医療大学校	1
一関高等看護学院	1
気仙沼病院附属看護専門学校	5
福島県立総合衛生学院	1
横浜市医師会聖灯看護専門学校	1
おだわら看護専門学校	1
大原スポーツ公務員専門学校	1
盛岡公務員法律専門学校	4
北日本医療福祉専門学校	1
国際医療福祉専門学校	2
専修大学北上福祉教育専門学校	1
デジタルアーツ仙台	1
仙台医療秘書福祉専門学校	1
東京法律専門学校仙台校	1
ヒューマンアカデミー仙台校	1
合 計	4

就職

株式会社アマタケ	1
合 計	1